

研修員's VOICE

Vol. 12

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



沖縄のみなさんが
優しくしてくれて、楽
しく過ごせました。

日本は規
律や秩序が
順守されて
いる美しい
国です。ま
すますの
発展をお
祈ります。

労働省アンマン雇用局 局長のレハムさん(左)とヨルダン科学技術
大学キャリアガイダンスオフィス オフィスマネージャーのサヘムさん(右)

氏名: Ms. Reham Alhadeed (レハムさん)
Mr. Sahem Obaidat (サヘムさん)

国名: ヨルダン・ハシミテ王国

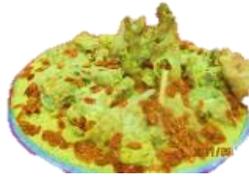
コース名: 国別研修 キャリアカウンセリング・
民間企業連携能力強化研修

滞在期間: 2018年4月15日 - 2018年4月27日

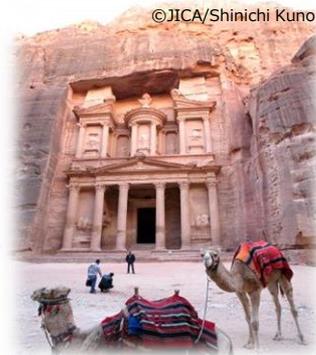
ヨルダンってどんな国ですか？

アラビア半島の北西部、イラク、サウジアラビア、シリア、イスラエルと国境を接する王国で、面積は8.9万km²(北海道と同程度)、人口約700万人(2017年)、総人口の半数が20歳以下という若い国家です。アラブ諸国の中でも教育レベルが高く、学歴社会です。日本の自動車や電化製品、アニメが人気の親日国です。

おもてなしを大切にするヨルダン人にとって食事は特に大切で、ご飯の上にヨーグルトで煮込んだ羊や鶏肉、ナッツを盛った「マンサフ」や「アラビックコーヒー」は客人を迎える時や冠婚葬祭にかかせない料理です。



マンサフ



世界遺産のペトラ遺跡

今回の研修の目的は？

ヨルダンの高い失業率の改善、特に若年層の雇用の促進と定着を図るため、求人企業の開拓方法や求職者への対応/指導法、教育機関と民間企業の連携等を学ぶため来日しました。

ヨルダンでも職業訓練の提供や大学でのキャリアガイダンスは実施されていますが、まだ十分とは言えず、高卒者以下への対応はされてない状況です。キャリアカウンセラーも不足しており、その養成も課題です。



研修コースの研修員と関係者

印象に残っていることは？

学んだことは全て有益ですが、特に行政による企業の認証制度は大変参考になりました。自国では企業と求職者の信頼関係が薄いため、雇用に繋がらないことも多いので、認証制度で求職者へ信頼を与え、雇用促進に繋がっていききたいと思います。

日本のキャリア教育は小学校から実施され、早い段階からキャリア支援が行われているのも素晴らしいです。労働省と教育省で連携を図り、キャリア教育の早期実施にも取り組みたいと思います。



ハローワークでの求人検索体験(左) クラスでの様子(右)